

新たなステージに入った環境への取り組み

乾電池ゼロエミッションリサイクルを推進

ヤマト運輸は、輸送サービスに携わる企業の社会的使命として、環境に配慮した事業活動を継続的に推進しています。これまで年度ごとに定めた環境保護活動方針に沿って、事業活動の円滑な推進を維持しながら、多角的な環境保全活動を展開してきました。地球環境委員会が中心的な役割を担い、すでに貨物自動車から排出される大気汚染物質(燃焼に伴う窒素・硫黄酸化物等)の削減で着実に成果をあげ、CO₂排出量抑制でも高いレベルを目指して取り組みを強化しています。

平成16年2月からは、新たに乾電池のゼロエミッションリサイクル(廃棄物を限りなくゼロにする処理)活動をスタートしました。当社の宅急便やクロネコメール便業務では、多様な携帯端末を利用し、そこで使用する乾電池の量は年間50トン(約200万本)になっています。これらは従来、

専門の廃棄物処理業者に委託して処理してきました。しかし処理方法は大部分が埋立に頼り、埋立処分場を必要とするため、将来的にその逼迫が懸念されるなどの課題が現れていました。当社では、こうした課題に配慮するとともに、廃棄物を削減し、資源を有効に活用するという観点から、乾電池ゼロエミッションリサイクルの導入を決定しました。環境保全活動の一環として、厳格な運用に取り組んでまいります。



乾電池が入った
ポータブル・ポス

豊かな共生社会の構築に向けて

障害者の社会的自立を支援するヤマトグループ

ヤマトグループでは以前より、事業活動や財団活動を通じて障害者の社会的な自立を支援し、豊かな共生社会の構築に向けて積極的な働きかけを行ってきました。宅急便の仕分けターミナルでの作業や、主管支店での事務に従事する障害者を積極的に受け入れる一方、障害者が働きがいや生きがいを持って自立を図る職場の提供を推進しています。その活動は、パンの製造・販売に取り組むベーカリーの全国チェーンを展開する(株)スワン、障害者作業所からの商品を扱う商社である(株)スワンネット、炭焼きから販売まで障害者が一貫して行う(株)スワン製炭へと広がっています。

当社のこうした活動が評価され、平成15年度の障害者雇用促進全国表彰式(厚生労働省・日本障害者雇用促進協会共催)で、障害者雇用優良事業所として厚生労働大臣表彰を受賞しました。



「スワンの木炭」
(スワン製炭)



平成15年度障害者雇用促進全国表彰式